



東北大学グローバルCOE

# Network Medicine 創生拠点

## 支倉フェロー成果発表会

### 千葉 秀平

(生命科学研究科情報伝達分子解析分野・助教)

米国・Johns Hopkins大学への短期留学により、マクロライド系抗生物質ラパマイシンによるFK506結合タンパク質とFRB(FK506結合タンパク質とラパマイシンとの複合体に対する結合タンパク質)の化学誘導二量体形成法技術を習得し、これをもとに一次繊毛の機能構築メカニズムの一端を明らかにした。

### 永井 友朗

(生命科学研究科情報伝達分子解析分野・大学院生)

【発表タイトル】 Furry is a positive regulator of microtubule acetylation in the mitotic spindles

【参加学会名】 American Society for Cell Biology Annual Meeting  
(サンフランシスコ)

日時: 2013年1月18日(金) AM11時～

場所: 青葉山キャンパス 生物棟・大会議室

聴講は自由大歓迎です。皆さんぜひどうぞ。

拠点リーダー 岡 芳知 / 世話人 水野 健作

(生命科学研究科・情報伝達分子解析分野・795-6679)